

<2024年度第1回全国代表者等会議報告>

2024年6月1日(土)連盟事務所において、第1回地方連合壮年会等代表者会議(略称:代表者会議)が開催されました。
(出席者:各地区の地方連合壮年会長、全国壮年会連合役員、奨学金委員、事務局)



代表者会議の様子

定期総会(8/23書面決議)に向けた最終的な協議、またこれからの壮年会活動について幅広く積極的な話し合いが行われました。ポイントを絞ったレジュメに従い、大変効果的に参加者全員による活発な議論が行われました。

<ポイント>

- 各地方連合壮年会の報告計画・献金、会費の状況と対策
- 定期総会議案(奨学金会計決算、献金目標額、献金の用途拡大、今後の全国壮年会について)
- 協力伝道
- 献身者の掘り起こし
- ジェンダーレスについて

(副会長兼事務局長 稲川)

<今後の全国壮年会連合関連の年内の予定>

- 6月29日(土) 総会議案説明会(オンライン) 10時~12時
- 7月10日(水) 総会議案事前質問受付締切日
- 7月19日(金) 総会事前質問回答と投票用紙を各教会・伝道所へ送付
- 7月24日(水) 大会参加登録締切日
- 8月22日(木) 全国壮年会連合総会議案の投票締切日
- 8月23日(金) 全国壮年会連合定期総会(文書による)
- 8月24日(土) 第59回全国壮年会 西九州大会(オンライン) 9時30分~16時30分
- 10月11日(金) 中間監査(全国壮年会連合事務所)
- 10月12日(土) 第2回役員会(対面) 10時30分~
- 10月19日(土) 全国研修会(オンライン) 10時30分~12時 「私と教会が元気になるには」
- 11月2日(土) 西南学院大学神学部神学生との面談
西南学院大学神学部教員の方々との全国壮年会連合役員との懇談会
- 11月9日(土) 第2回代表者会議(オンライン) 10時30分~

全国壮年会連合 会長:高良 研一(恵泉)、副会長・事務局長:稲川 仁(宝塚)
書記:木村 均(大井)、会計:高井 透(高崎)
監査:堤 秀幸(福岡西部)、大城戸 一彦(所沢)

同奨学金委員会 委員長:北村 慎二(宝塚)、総務:浦瀬 祐司(札幌)、会計:田口 清吾(平針)
返還:鶴澤 寛(鳥栖)、渉外:古田 晴彦(宝塚)、
連盟担当理事:武林 真智子(相浦光)、神学部長:才藤 千津子(平尾)

事務局 飯野 實(宮原)

神学校献金 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局



伝道者養成と教会形成を担う
日本バプテスト連盟
全国壮年会連合 NEWS

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4
事務局(原則)月・水・金 10:00-16:00
電話・FAX 048-886-7533
Email:sonen@bapren.jp
HP:http://www.sonen.net

第132号
2024/06/24 発行
発行人:高良 研一
編集人:稲川 仁

「第59回全国壮年会の開催に向けて」

大会実行委員長 野中滋生(相浦光教会)

いよいよ「第59回全国壮年会」開催まで、2か月余りとなりました。

今回は、「協力伝道」をテーマに、大会主題「わたしたちの心は燃えていたではないか~臨在の主に、心燃やされて~」と題し、Zoomを用いて、西九州地方連合の取組事例を全国に発信する大会になります。



準備に2年以上をかけて取り組んだ成果を、壮年のみならず誰でも参加できますので、8月24日(土)、ぜひ多くの方々に聞いていただきたいと願っています。さて、今回発表する内容は以下のとおりです。

初めに西九州地方連合の紹介、並びに事例発表以外の特徴的な取組を紹介します。

次に、「事例発表1」として「西九州地方連合と五島教会との交流の歩み」を発表します。

NHK朝ドラ「舞い上がれ」の舞台となった長崎県の離島、五島列島。歴史的な背景からカトリック教会が大変多い中、唯一のプロテスタント教会である五島教会に連合内から「長期奉仕者」を派遣するなど、継続的な交流・協力の歩みをお聞きください。

次に、「事例発表2」として「西九州地方連合内献身者の働き」を発表します。

「九州バプテスト神学校在学学生か卒業生を献身者」と定義し、該当する連合内7名に実施した19項目のアンケート結果をもとに、「どのようにして献身へと導かれたの?」、「喜びをもって奉仕できる秘訣は?」、「九州バプテスト神学校で学んでよかった点は?」などについて、献身者の深い思いを、さらにこのアンケート結果から見えてくることなどをお聞きください。

その後、質疑応答を行い、松見俊九州バプテスト神学校宣教センター長から「今後へのアドバイス」をお聞きすることになります。西九州地方連合壮年会が「協力伝道・地方からの発信」というコンセプトを掲げて取り組む今回の大会、バプテストの群れに連なる多くの皆さまと、心燃やされて共に歩み始める良き機会となりますよう、心から祈ります。

1.大会参加の登録

Googleフォームに必要事項記入のうえ、送信してください。
<https://forms.gle/wN42swu6wEXsuyz87>

右のQRコードでスマホからも登録できます。

※Googleフォームによる登録が難しい場合は以下も利用できます。

●メールの場合 sonen@bapren.jp 全国壮年会連合事務局 飯野實宛

●お知らせいただく内容

①メールアドレス、②教会名(略式で)、③通知者氏名、④大会参加者氏名

申込締切:7月24日(水)まで延長します。

注意:総会代議員登録は6/9で終了しています。



2.大会参加登録費は無料ですが、

大会参加の方は是非とも神学校献金をお願いします。

神学校献金の振り込みについてのご案内(金額は自由です。)

大会参加者は神学校献金を以下のゆうちょ口座に振り込み願います。

振り込み手数料は各自でご負担ください。送金締切:8月20日(火)

ゆうちょ口座 00120-2-721485

口座名:日本バプテスト連盟全国壮年会連合全国壮年会

●ゆうちょ銀行以外の振込みは、

金融機関コード 9900 店番019 店名〇一九(ゼロイチキュウ) 口座番号 0721485

<問い合わせ先> 全国壮年会連合事務局 飯野實 TEL/FAX 048-886-7533 mail:sonen@bapren.jp

九州バプテスト神学校の神学生の証 「神様のご計画の中で」

九州バプテスト神学校 専攻科2年 海蔵和香（都城教会）

ハレルヤ！ 主の御名を賛美いたします。

私は、小学3年生の時に友だちに誘われて、初めて教会に行きました。小学生でも一人で行ける、自宅から近い教会でした。当時、その教会の建物はポロポロで、つかえ棒をして何とか建物を支えているような教会堂でした。しかし、そこにいらっしゃった若い牧師夫妻や、その教会の信徒の方々（明治生まれのおじいさんやおばあさんたち）がとても優しく、びっくりしたのを覚えています。実家では、両親の真剣な夫婦喧嘩が日常的に行われており、近所に住んでいる親戚間でも、いつも誰かと誰かがもめている、その様な家庭に生まれ育った私は、教会の方々の優しさと温かさにすっかり魅了されてしまいました。また、その傾きかけた会堂に入っていくと、不思議と気持ちもちが落ち着きました。



小学生の時は、暗唱聖句の書いた豆カードをもらうのが楽しみで、毎週のように教会に通い始めました。中学生になり、若い牧師夫妻は、プライベートもオープンにして、勉強を教えて下さるようになり、ほぼ毎日教会に通うようになりました。実は、その頃に「献身をしたい。」という思いが与えられていました。その時、牧師夫妻には告白し、継続して祈っていただいていた。しかし、高校を卒業する時になって、私は、献身に対して怖くなり、神学校ではなく医療系の専門学校に進学し、そのまま病院に就職しました。私は、神様とその牧師夫妻を裏切ってしまったような、そんな思いに蓋をして、教会からも次第に遠のいていきました。

そのような私が、～また教会に行きたい～ と思ったのは、自分がうつ病を発症した時でした。子どもの頃に、心の底から、安心して過ごさせていただいたキリストの教会へ、また行きたい。そのような思いが沸き起こってきました。そのとき導かれたのが、現在在籍している都城キリスト教会です。神様のお導きによって、教会生活が再開されました。その後、夫や息子もバプテスマに与る恵みをいただきました。

地方連合の総会や大会で、「働きながら学べる九州バプテスト神学校」といううたい文句は大変魅力的で、神学校のアピールを聞くたびに大変気になっていました。けれども、私の中の「献身」に対する怖れはなかなか拭い去られず、神学校というところに対して、なんだか怖くて近づけずにいました。

ある時、都城キリスト教会に、当時九州バプテスト神学校で教えておられた藤田英彦先生をお呼びして、牧師招聘についての学び会がありました。その学び会の本当のターゲットは別の壮年だったので、聖霊に触られたのでしょうか？なぜか、当時クリスチャン3年目の私の夫が、突然、神学校に入学したのです。本科コースで学び始めました。当時は、まだZOOMはありませんでしたので、YouTubeの動画を一緒に見せていただいたり、夕食を作りながら授業を聞いたりしているうちに、神学校に対する怖れは少しずつ取り除かれていきました。そして、それから数年後、九州バプテスト神学校で、新約聖書釈義を教えておられる堀内明先生を教会にお招きして、メッセージについての学び会をしていただきました。その時に、堀内先生からも背中を押していただいて、まずは、聴講生として学び始めることができました。「献身」の思いが与えられてから30年の時が経過していました。神様と、当時の牧師夫妻を裏切ったような私を、主は、お見捨てになられませんでした。そして、時を備えて下さり、九州バプテスト神学校での学びに導いてくださったのです。

神学校での学びは、単なる知識的な学びではない、と感じています。自分の信仰が変えられる学びだと実感しています。そのような素晴らしい学びです。今年度、私は専攻科2年となりました。あっという間でした。今は、卒業できるのか、献身できるのか、決心したつもりでも、実はまだ不安だらけです。けれども、自分ができるかどうか、ということよりも、主に信頼し、委ねていけますようにと、祈っていきたいと思います。

全国壮年会のみなさん、いつも伝道者養成や神学生のために支援をしてくださり感謝いたします。これからも、私たち神学生のことを覚えて、どうぞ祈り支えてください。

感謝いたします。「卑しめられたのはわたしのために良いことでした。わたしはあなたの掟を学ぶようになります」（詩編119篇71節）

2024年度日本バプテスト連盟全国壮年会連合定期総会(8月23日)議案

| |
|--|
| 議案1. 2024年度総会議長選任の件 |
| 議案2. 2024・2025年度全国壮年会連合役員・奨学金委員追加承認の件 |
| 議案3. 2024・2025年度全国壮年会連合諸活動報告、決算、監査報告に関する件 |
| 3-1 2023年度全国壮年会連合活動報告 |
| 3-2 2023年度全国壮年会連合一般会計決算報告 |
| 3-3 2023年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告 |
| 3-4 2023年度全国壮年会連合神学生奨学金会計収支報告 2023年度全国壮年会連合神学生奨学金会計決算報告 |
| 3-5 2023年度監査報告 |
| 議案4. 全国壮年会連合規約細則第3条等の改定案の件 |
| 議案5. 2025年度 神学校献金目標額設定案の件 |
| 議案6. 神学校献金の用途拡大に関する「日本バプテスト連盟」と「全国壮年会連合」の覚書に関する件 |
| 議案7. 2024-2025年度 全国壮年会連合活動計画(案)の件 |
| 議案8. 2024年度 全国壮年会連合一般会計修正予算(案) 及び2025年度 全国壮年会連合一般会計予算(案)の件 |
| 議案9. 2024-2025年度 全国壮年会連合奨学金委員会活動計画(案)の件 |
| 議案10. 2024年度 全国壮年会連合奨学金会計修正予算(案) 及び2025年度 全国壮年会連合奨学金会計予算(案)の件 |
| 議案11. 2026年度(第61回)全国壮年大会担当地方連合の件 |
| 議案12. 2025年度(第60回)総会議長の件 |

献身の証し

花野井バプテスト教会
牧師 古賀公一



1980年に西南学院大学法学部を卒業して、保険会社へ入社しました。当時は企業戦士という言葉があり、私もその一人でした。沖縄で初めて営業を開始するその会社で、私は初代営業所長の任務が与えられました。28歳になった時でした。困難が予想されましたが、むしろ意気を感じた私は更に仕事にのめり込みます。業績は順調に伸展しましたが、30歳台前半に仕事一辺倒の生き方に疑問を感じるようになります。解決を模索して大学時代に必須科目で学んだ聖書を開き、那覇バプテスト教会の礼拝に出席するようになります。間もなくバプテスマを受け、当時の国吉守牧師には将来的に献身の思いがある旨を伝えていました。

教会生活に慣れた頃、転職となります。またあらたな場所での業務に熱中します。あまり休みも取らず働き続けた結果、体調に異変が生じます。剣道とラクビーで小学生時代から鍛錬してきたと慢心した心身は崩壊、もはや企業戦士の姿はありません。医師の診断に依れば、過労に依る鬱状態との事。幸いにも会社は配慮して、故郷人事をしてくれました。

ようやく快復へ向かった頃、東京本社への転職となります。今まで経験してきた仕事内容も生かせる職種で、自分でも適任だと思っていました。1990年代の終わり頃バブルが崩壊、あらゆる企業にその傷跡が残っていた時代です。国内の自死者数が2万人を超え、社会問題となっていました。私は思いました。自分は安全な立場にいるがそれで良いか？ 信仰者として後悔は残らないか？ 僅かな正義感からキリスト者として自分にやるべき事があるかもしれない、と思い始めました。自らも苦しんだ数年間があった。だが再び立ち上がる時、周囲の配慮と共に、神様から癒やしの力あるいは希望とも言える何かを頂いた。全ての人間は限りある弱い存在で、厳しい局面では倒れることがある。だがキリストの福音は、新たな歩みを始めようとする者に大きな励ましを与える、との確信を持ち始めていました。

こうして未だ福音に触れていない人々にキリストを伝える働きが、自分の使命ではないかと献身を考えるようになります。苦悩する人々に福音を伝える牧師となる決心をしたのです。